

別紙

I 事業評価総括表 (単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 の 名 称	交付金事業名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	栗原市栗駒保育所運営事業	栗原市	7,079,800	2,825,913	
2	地域活性化措置	栗原市一迫保育所運営事業	栗原市	7,042,830	3,404,000	

(注) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 の 名 称		
1	地域活性化措置	栗原市栗駒保育所運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		栗原市		
交付金事業実施場所		栗原市栗駒		
交 付 金 事 業 の 概 要		栗原市栗駒保育所運営事業に係る保育士4名分の人件費(令和6年7月～令和6年12月の6ヶ月分) 栗原市では、保護者の就労形態や保育ニーズの変化を的確に捉え、子どもたちの健やかな育ちを支えるため、子育て環境の一層の充実を図っていく必要があることから、電源立地交付金を活用し、保育サービスの充実に努めています。		
総 事 業 費		7,079,800	交 付 金 充 当 額	2,825,913
交付金事業の目標		待機児童0人		
交付金事業の成果指標		待機児童の数 (達成度：入所者数35人÷入所申込者数35人)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、当該保育所の保育士4名・6ヶ月分の人件費を確保することができ、それによって待機児童0人の目標を達成することができました。しかし、保護者が求職中のため入所順位が低くなること、また、市内で空きがある他の保育所はあるものの、保護者が入所を希望する保育所を限定する傾向にあることなどを要因として、今後も待機児童が発生する可能性があります。そうした保護者との協議を続けるとともに、次年度以降も子育て世代の多様なニーズに応じた支援策の充実を図り、待機児童の発生抑止に努めます。		
交付金事業の契約の概要				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	保育士人件費	雇用	保育士4名	7,079,800
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		令和6年度		

Ⅱ 事業評価個表

(単位：円)

番 号		措 置 名		交 付 金 事 業 の 名 称	
2	地域活性化措置		栗原市一迫保育所運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			栗原市		
交付金事業実施場所			栗原市一迫		
交 付 金 事 業 の 概 要			栗原市一迫保育所運営事業に係る保育士4名分の人件費(令和6年7月～令和6年12月の6ヶ月分) 栗原市では、保護者の就労形態や保育ニーズの変化を的確に捉え、子どもたちの健やかな育ちを支えるため、子育て環境の一層の充実を図っていく必要があることから、電源立地交付金を活用し、保育サービスの充実に努めています。		
総 事 業 費			7,042,830	交 付 金 充 当 額	3,404,000
交付金事業の目標			待機児童0人		
交付金事業の成果指標			待機児童の数 (達成度：入所者数38人÷入所申込者数38人)		
交付金事業の成果及び評価			本交付金の活用により、当該保育所の保育士4名・6ヶ月分の人件費を確保することができ、それによって待機児童0人の目標を達成することができました。しかし、保護者が求職中のため入所順位が低くなること、また、市内で空きがある他の保育所はあるものの、保護者が入所を希望する保育所を限定する傾向にあることなどを要因として、今後も待機児童が発生する可能性があります。そうした保護者との協議を続けるとともに、次年度以降も子育て世代の多様なニーズに応じた支援策の充実を図り、待機児童の発生抑止に努めます。		
交付金事業の契約の概要					
契 約 の 目 的		契 約 の 方 法		契 約 の 相 手 方	
保育士人件費		雇用		保育士4名	
				契 約 金 額	
				7,042,830	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				令和6年度	